

保育士インタビュー

高橋　頼子　入職23年目
（草花保育園）

秋草学園短期大学1998年卒業



「好き」を極めることが大切だと思います

自分が保育士として働く事を想像すると、不安なことも多いかも知れません。私は保育士として長く働くには「好き」を極めることが大切だと思っています。苦手なものを克服することも必要ですが、「好き」を極めることで自分らしい保育につながっていくと思います。私は絵を描いたり、物を作ったりする事が好きで、家でも自分で材料を揃えて製作をして、そうした物を保育の中で沢山活かしてきました。保育士自身が好きで楽しみながら行うことは、子どもたちにも自然とその熱意が伝わりますので、とても大切なことだと思います。



働きやすい職場で助かります

職員が楽しく過ごし、楽しく仕事ができるような環境づくり・職場づくりをしてくれています。

私が働き始めたころは、日誌などの記録はすべて手書きによる作業で、修正・加筆をする際にも多大な時間を要していました。今は法人本部がICT化にいち早く対応してくれPCやタブレットの台数もクラスごとに充実しています。現在は手書き書類も減り、職員間の情報共有も簡単になりました。

職員体制も充実しているので、午睡中に日誌を記入する際に園児が起きてしまったりすると、他の職員が代わりに見てくれるので、手を止めなければいけないということもなく、スムーズに業務ができ、持ち帰りの仕事もほぼなくなりました。パソコンやタブレットの導入当初は使い方に戸惑いましたが、慣れると効率よく仕事ができて保育に集中できています。